

## 第8学年3組 英語科学習指導案

指導者 桑岡 有吏恵

### 1 単元名 Program4 High-Tech Nature (C-L Time)

#### 2 単元観

- 本単元は、自分の好きなものについて、比較級や最上級の表現を用いて、互いに伝え合ったり理由とともに答えたりする活動を通して、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにすることが主なねらいである。

生徒はこれまでに、自分のことを表現したり、自分の好きな人物を紹介し合ったりすることを学習し、自分の考えやその理由を即興で話そうとする力を身に付けている。

その上で、身近なものを比べた内容について聞き取ったり書いたりすることを学習し、自分の考えを相手に分かってもらえるように、自分の好きなものについてインタビューしたり理由とともに答えたりする力を身に付けることは大変意義がある。

また、本単元で学習した内容は、第9学年で学習する「1つのテーマに対して自分の意見を伝え議論するディベート活動」とつながるため、大変重要である。

- 学習内容の系統性

過去	第3学年「I like blue.」(文部科学省)
現在	⇒本単元「Program4 High-Tech Nature」SUNSHINE 開隆堂
未来	⇒第9学年「Program1 Steps1」SUNSHINE 開隆堂

#### 3 単元の目標

- 比較級、最上級、as～asなどの意味や働きを理解し、聞き取ったり書いたりすることができる。 (知識及び技能)
- 自分の好きなものについて互いに伝え合ったり理由とともに答えたりすることができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- 会話を継続するために必要な自分の課題を振り返り、改善しようとし、主体的に話すことができる。 (学びに向かう力、人間性等)

#### 4 単元指導計画 (全9時間)

次	時	○主な学習活動(内容)【●本時】	◇主な評価規準
一	1	○身近なものを比べた内容について、聞き取ったり書いたりする。	◇比較級などの意味や働きを理解し、聞き取ったり書いたりしている。 【知・技】
	2	○自分が「最も～だ」と思うものについて、聞き取ったり書いたりする。	◇最上級などの意味や働きを理解し、聞き取ったり書いたりしている。 【知・技】
	3	○身長や身近なものを比べた内容について、聞き取ったり書いたりする。	◇as～asなどの意味や働きを理解し、身長や身近なものを比べた内容について、聞き取ったり書いたりしている。 【知・技】
二	4-6	○教科書の会話文の読解をする。	◇会話文の概要や要点を捉えている。 【思・判・表】
	7	○写真や絵を見て、会話文の内容を相手に示しながら概要を話す。	◇簡単な語句や文を用いて、即興で概要を話している。【思・判・表】
	8	●自己紹介活動を行う。 <C-L Time>	◇会話を続けるために必要なことを考え、主体的にアドバイスを行っている。 【主体的】
	9	○自分の好きなものを伝え合う活動をする。	◇自分の好きなものについて伝え合ったり理由とともに即興で話したりしている。【思・判・表】

5 本時 令和4年11月4日(金) 5校時 於: ランチルーム

(1) 主眼

- 自己紹介活動を通して、会話を続けるために必要なことを考え、主体的にアドバイスを行うことができる。

(2) 展開

段階	学習活動・内容	○指導上の留意点 ◇評価規準(方法)	配時
導入 【つかむ・見通す】	1 前時を振り返り、本時学習のめあてを確認する。	「つかむ」段階 ○小学生が手本にしたいと思えるように、前時の学習のやりとりをデモンストレーションする場を設定する。	3
	2 教師のデモンストレーションを見て、見通しをもつ。	「見通す」段階 ○本時のゴールイメージをもたせ、小学生がめあてを達成できるように、どのようなアドバイスが必要かを確認する。 ○R・C・Q(リピートまたはリアクション・コメント・質問)やアイコンタクト、グッドボイスの大切さを確認する。	2
めあて 会話を続けるために必要なことを小学生にアドバイスしながら、自分の発表で工夫する点を見つけよう。			
展開 【一人学び・学び合い】	3 小学生とやりとりをしながら名刺を作る。  【自己紹介の流れ】 A: Hello. What's your name? B: My name is Yurie. Y U R I E, Yurie. A: OK, Yurie. What color do you like? B: I like red. Because~ A: Oh, red. It's nice color. What animals do you like? B: I like dogs. Because~ A: Oh, really? I like dogs too! B: See you. A: See you.	「一人学び」の段階 ○小学生とのコミュニケーションでは、ゆっくり話したり相づちを打ったり等の工夫が必要だということを確認する。 ○R・C・Qを意識して会話を続けさせる。 ○次時の目標である、理由も添えて話すことを確認する。	1 2
	4 小学生と一緒に自己紹介と名刺交換の練習を行う。	「学び合い」の段階 ○小学生が自信をもってやりとりができるように、繰り返し練習をし、中学生がアドバイスをする場を設定する。	8
	5 小学生と自己紹介を行い、名刺交換をする。	○座席を移動し、自己紹介の相手が交代できるようにする。 ○活動中、アイコンタクト、グッドボイス、リアクションを意識して活動ができていた小学生を紹介することで、相手に伝わるような工夫の大切さが再確認できるようにする。	1 5
終末 【まとめる】	6 活動の振り返りを行う。 (1) 小学生の自己紹介を評価し、良かった点と改善できる点を発表する。	「まとめる」段階 ○相手に伝わるよう工夫する姿や積極的にコミュニケーションする態度など、小学生の良かったところを称賛する。	5
	まとめ 相づちを打ったり、好きな理由を伝えたりする一文を添える工夫が必要。  (2) リフレクションをする。	◇会話を続けるために必要なことを考え、主体的にアドバイスを行っている。(記述)  ○自分がアドバイスできたことや次時の発表の改善点などを書かせる。	